

第5節 科学技術の振興等

1 航空交通の安全に関する研究開発の推進

(1) 文部科学省関係の研究等

ア 科学技術に関する経費の調整

各省庁の航空安全に係る科学技術に関する平成15年度の経費について、見積り方針の調整を行う。

イ 独立行政法人航空宇宙技術研究所の研究
航空機の安全性に関する研究を強力に推進する。また、国土交通省航空・鉄道事故調査委員会からの依頼に基づき、調査研究を行い、航空事故等の事故原因の究明に協力する。

(2) 国土交通省関係の研究

ア 国土技術政策総合研究所の研究

航空機の離着陸時の安全性向上を目的として、滑走路等空港土木施設の設計及び施工並びに空港舗装の補修に関する研究を行う。

イ 気象庁気象研究所等の研究

航空交通の安全に寄与する気象情報等の精度向上を図るため、気象研究所を中心に「高分解能非静力学数値モデルの高度化とメソスケール擾乱の構造・メカニズムの解明」を行う。

ウ 独立行政法人交通安全環境研究所の研究

航空交通量の著しい空港における航空機の安全で円滑な地上走行を支援するための視覚誘導システム等に関する研究を行う。

エ 独立行政法人電子航法研究所の研究

「エンハンスド・ビジョン・システムに関する基礎研究」及び「次世代衛星航法システムに関する研究」並びに各種航空保安無線施設及び航空管制通信施設・方式に関する研究を行う。

2 航空事故の原因究明のための総合的な調査研究の推進

航空事故及び重大インシデントの原因究明の調査を迅速かつ適確に行うため、航空機に搭載され

ている種々型式を異にする飛行記録装置(DFDR)から航空機の運航状態を正確に再現する汎用性のある飛行記録解析システムの開発等、総合的な調査研究を推進し、その成果を原因の究明に反映させる。